■本書の特徴と使い方

本書には、わかりやすさと使いやすさの工夫が多く入っています。

目　次

基本編

第1章　工業簿記の基礎　3
1-1 □□□ 原価の分類①　4
1-2 □□□ 原価の分類②　6
1-3 □□□ 工業簿記の一巡　8

第2章　材料費　15
2-1 □□□ 材料副費　16
2-2 □□□ 材料副費の予定配賦　17
2-3 □□□ 材料消費額及び棚卸資産の算定　20
2-4 □□□ 材料消費価格差異①　22
2-5 □□□ 材料消費価格差異②　24

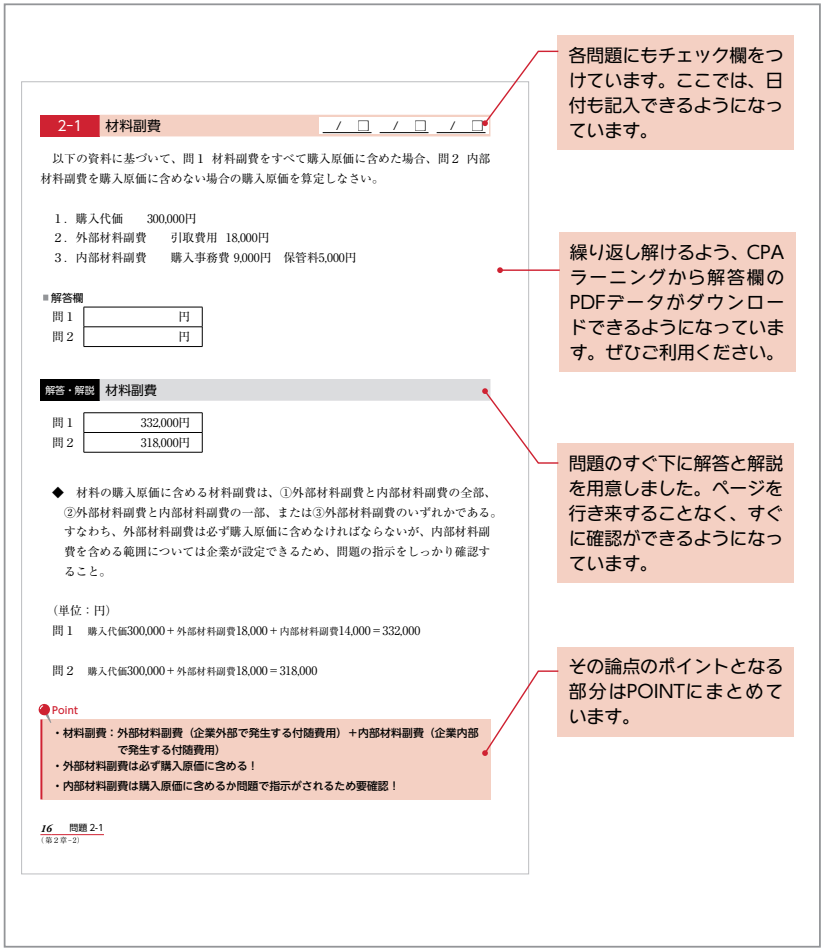
第3章　労務費　27
3-1 □□□ 賃金支払時の処理　28
3-2 □□□ 未払賃金の処理　29
3-3 □□□ 直接工賃金と間接工賃金の処理　31
3-4 □□□ 賃率差異①　34
3-5 □□□ 賃率差異②　36

第4章　経　費　39
4-1 □□□ 各経費の消費額の算定　40
4-2 □□□ 経費の処理①　42
4-3 □□□ 経費の処理②　45

目　次　i

基本編の章番号は、『いちばんわかる日商簿記２級工業簿記の教科書』の章番号に対応しています。

目次には、チェック欄がついています。解けたら「○」を、解けなかったら「×」を記入し、どの問題も「○」にするように勉強しましょう。



2-1　材料副費　/ □　/ □　/ □

以下の資料に基づいて、問１ 材料副費をすべて購入原価に含めた場合、問２ 内部材料副費を購入原価に含めない場合の購入原価を算定しなさい。

１．購入代価　300,000円
２．外部材料副費　引取費用 18,000円
３．内部材料副費　購入事務費 9,000円　保管料5,000円

■解答欄

問１	円
問２	円

解答・解説　材料副費

問１	332,000円
問２	318,000円

◆ 材料の購入原価に含める材料副費は、①外部材料副費と内部材料副費の全部、②外部材料副費と内部材料副費の一部、または③外部材料副費のいずれかである。すなわち、外部材料副費は必ず購入原価に含めなければならないが、内部材料副費を含める範囲については企業が設定できるため、問題の指示をしっかり確認すること。

（単位：円）
問１　購入代価300,000＋外部材料副費18,000＋内部材料副費14,000＝332,000

問２　購入代価300,000＋外部材料副費18,000＝318,000

Point
・材料副費：外部材料副費（企業外部で発生する付随費用）＋内部材料副費（企業内部で発生する付随費用）
・外部材料副費は必ず購入原価に含める！
・内部材料副費は購入原価に含めるか問題で指示がされるため要確認！

16　問題 2-1
（第２章-２）

各問題にもチェック欄をつけています。ここでは、日付も記入できるようになっています。

繰り返し解けるよう、CPAラーニングから解答欄のPDFデータがダウンロードできるようになっています。ぜひご利用ください。

問題のすぐ下に解答と解説を用意しました。ページを行き来することなく、すぐに確認ができるようになっています。

その論点のポイントとなる部分はPOINTにまとめています。

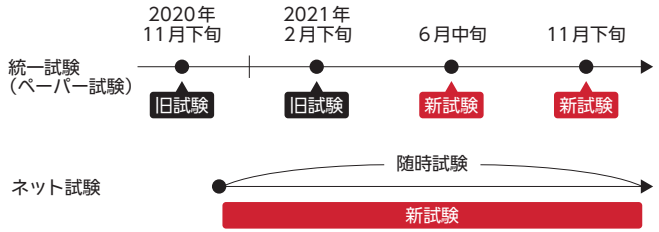
■日商簿記検定２級について

１．従来の試験制度（旧試験）と新試験について

2020年12月よりネット試験が導入され、新試験が施行されました。新試験では以下のように形式面が変更されています。なお、試験範囲に変更はありません。

	従来の試験（旧試験）	新試験
試験時間	２時間	１時間30分
試験形式	・年３回のペーパー試験	・年３回のペーパー試験 **・随時実施のネット試験**

年３回のペーパー試験を「統一試験」といい、統一試験は６月中旬（第２日曜日）、11月下旬（第３日曜日）、２月下旬（第４日曜日）の年３回実施されます。旧試験による統一試験は2021年２月(第157回)が最後で、それ以降は新試験になります。



２．ネット試験とは

ネット試験は、インターネット経由で配信される問題をPCの画面上で受験する試験方式です。ネット試験は、商工会議所が認定したテストセンターで受験します（自宅での受験は不可）。また、合否はその場ですぐに判明します。問題および答案用紙はPCの画面上に表示されますが、計算用紙が配布されるので、そこまで大きな不便はありません。

ネット試験の実施日時はテストセンターにより異なります（テストセンターによっては毎日実施しているところもある）。問題の難易度等は統一試験と同じであり、統一試験とネット試験のどちらで合格しても資格の価値は変わりません。

▼ネット試験の申込ページ
https://cbt-s.com/examinee/examination/jcci.html

３．試験の概要

受験資格	なし
申込期日	・統一試験 受験日の約２ヶ月前から約１ヶ月間（受験希望地の商工会議所によって、申込期日や申込方法は異なる） ・ネット試験 申込日より３日目以降（例：10日申込の場合13日以降）の予約が可能
受験日	・統一試験 ６月中旬（第２日曜日）、11月下旬（第３日曜日）、２月下旬（第４日曜日） ・ネット試験 随時実施（テストセンターにより異なる）
受験料	税込4,720円（ネット試験の場合、事務手数料550円が別途発生）
試験科目と配点	商業簿記（配点60点）、工業簿記（配点40点）
合格基準	70点以上（満点100点）
筆記用具について	試験では、HBまたはＢの黒鉛筆、シャープペン、消しゴムが使用可（ラインマーカー、色鉛筆、定規等は使用不可）
合格発表日	・統一試験 受験後、約１ヶ月後に発表（商工会議所により異なる） ・ネット試験 受験後、すぐにその場で点数・合否が判明
計算器具について	電卓の持ち込み可（ただし、計算機能（四則演算）のみのものに限り、例えば、次の機能があるものは持ち込み不可。印刷（出力）機能、メロディー（音の出る）機能、プログラム機能（例：関数電卓等の多機能な電卓、売価計算・原価計算等の公式の記憶機能がある電卓）、辞書機能（文字入力を含む）ただし、次のような機能は、プログラム機能に該当しないものとして、試験会場での使用を可とします。日数計算、時間計算、換算、税計算、検算（音の出ないものに限る）
合格率	40％前後であることが多い

※本書の刊行時のデータです。最新の情報は商工会議所のWEBサイトをご確認ください。（https://www.kentei.ne.jp/bookkeeping）

目　次

基本編

第1章　工業簿記の基礎　3

1-1　□□□　原価の分類①　4
1-2　□□□　原価の分類②　6
1-3　□□□　工業簿記の一巡　8

第2章　材料費　15

2-1　□□□　材料副費　16
2-2　□□□　材料副費の予定配賦　17
2-3　□□□　材料消費額及び棚卸資産の算定　20
2-4　□□□　材料消費価格差異①　22
2-5　□□□　材料消費価格差異②　24

第3章　労務費　27

3-1　□□□　賃金支払時の処理　28
3-2　□□□　未払賃金の処理　29
3-3　□□□　直接工賃金と間接工賃金の処理　31
3-4　□□□　賃率差異①　34
3-5　□□□　賃率差異②　36

第4章　経　費　39

4-1　□□□　各経費の消費額の算定　40
4-2　□□□　経費の処理①　42
4-3　□□□　経費の処理②　45

第5章　製造間接費　47

5-1 □□□ 製造間接費実際配賦① …… 48
5-2 □□□ 製造間接費実際配賦② …… 50
5-3 □□□ 製造間接費予定配賦① …… 51
5-4 □□□ 製造間接費予定配賦② …… 52
5-5 □□□ 製造間接費配賦差異の分析① …… 54
5-6 □□□ 製造間接費配賦差異の分析② …… 58
5-7 □□□ 費目別原価計算 …… 61

第6章　部門別計算　65

6-1 □□□ 部門共通費の配賦 …… 66
6-2 □□□ 補助部門費の配賦計算① …… 69
6-3 □□□ 補助部門費の配賦計算② …… 72
6-4 □□□ 補助部門費の配賦計算③ …… 78
6-5 □□□ 製造間接費の実際配賦 …… 84
6-6 □□□ 製造間接費の予定配賦① …… 86
6-7 □□□ 製造間接費の予定配賦② …… 89

第7章　個別原価計算　93

7-1 □□□ 単純個別原価計算① …… 94
7-2 □□□ 単純個別原価計算② …… 98
7-3 □□□ 部門別個別原価計算① …… 103
7-4 □□□ 部門別個別原価計算② …… 108
7-5 □□□ 単純個別原価計算③ …… 113

第8章　総合原価計算　117

8-1 □□□ 月初仕掛品がない場合 …… 118
8-2 □□□ 月初仕掛品がある場合① …… 120
8-3 □□□ 月初仕掛品がある場合② …… 122
8-4 □□□ 単純総合原価計算表① …… 124
8-5 □□□ 単純総合原価計算表② …… 127
8-6 □□□ 仕損及び減損の処理① …… 130
8-7 □□□ 仕損及び減損の処理② …… 133
8-8 □□□ 副産物の処理 …… 136

第9章　その他の総合原価計算　139

9-1 □□□ 組別総合原価計算① …… 140
9-2 □□□ 組別総合原価計算② …… 142
9-3 □□□ 等級別総合原価計算① …… 145
9-4 □□□ 等級別総合原価計算② …… 147
9-5 □□□ 工程別総合原価計算① …… 149
9-6 □□□ 工程別総合原価計算② …… 152
9-7 □□□ 工程別総合原価計算③ …… 156

第10章　決算と財務諸表　159

10-1 □□□ 決算と財務諸表① …… 160
10-2 □□□ 決算と財務諸表② …… 163
10-3 □□□ 決算と財務諸表③ …… 169
10-4 □□□ 決算と財務諸表④ …… 175

第11章　標準原価計算　181

11-1　□□□　標準原価計算①　182
11-2　□□□　標準原価計算②　184
11-3　□□□　原価差異の分析　186
11-4　□□□　勘定記入方法　190
11-5　□□□　標準原価計算③　195

第12章　直接原価計算　201

12-1　□□□　直接原価計算①　202
12-2　□□□　直接原価計算②　207
12-3　□□□　固定費調整　212
12-4　□□□　直接原価計算③　215
12-5　□□□　直接原価計算④　219

第13章　ＣＶＰ分析　221

13-1　□□□　CVP 分析①　222
13-2　□□□　CVP 分析②　225
13-3　□□□　CVP 分析③　227
13-4　□□□　CVP 分析④　230
13-5　□□□　高低点法　233

第14章　本社工場会計　235

14-1　□□□　本社工場会計①　236
14-2　□□□　本社工場会計②　240

試験対策編

第 4 問対策　245

4-1　□□□　仕訳問題（工業簿記）　246
4-2　□□□　工程別総合原価計算　255
4-3　□□□　部門別原価計算　258
4-4　□□□　財務諸表作成　263

第 5 問対策　267

5-1　□□□　標準原価計算　268
5-2　□□□　CVP 分析　272
5-3　□□□　全部原価計算と直接原価計算　277

基本編

第1章

工業簿記の基礎

問題	ページ	出題論点
1-1	4	原価の分類①
1-2	6	原価の分類②
1-3	8	工業簿記の一巡

1-1 原価の分類①

／ □　／ □　／ □

以下の項目を、製造原価・販売費及び一般管理費・非原価項目に分類しなさい。

(1) 製品の原材料
(2) 工場の工員給料
(3) 工場の水道光熱費
(4) 本社職員の給料
(5) 本社の水道光熱費
(6) 広告宣伝費
(7) 支払利息

■解答欄

製造原価	
販売費及び一般管理費	
非原価項目	

解答・解説 原価の分類①

製造原価	(1)、(2)、(3)
販売費及び一般管理費	(4)、(5)、(6)
非原価項目	(7)

【製造原価】
製品を製造するための費用。工場で発生する費用や、工場従業員に関する費用は製造原価に分類される。
【販売費及び一般管理費】
販売費　　：製品を販売するための費用。
一般管理費：本社での企業全般の管理のための費用。
本社や営業所に関する費用は販売費及び一般管理費に分類される。
【非原価項目】
原価に含めないもの。製造活動や販売活動以外に要する費用であり、支払利息等の財務費用が挙げられる。

Point

- 製造原価：製品の製造のためにかかった原価
- 販売費及び一般管理費：製品を販売するためにかかった費用、企業全般の管理のためにかかった費用
- 非原価項目：原価に含めない項目

1-2 原価の分類②

／ □　／ □　／ □

以下の資料に基づいて、①製造直接費、②製造間接費、③製造原価、④総原価、⑤販売価格、⑥販売利益の各金額を求めなさい。

1．材料費消費高　250,000円（うち直接費 100,000円）
2．労務費消費高　360,000円（うち直接費 150,000円）
3．経費消費高　　260,000円（うち直接費　30,000円）
4．販売費及び一般管理費　70,000円
5．販売価格は総原価の15％増である。

■解答欄

①	円	④	円
②	円	⑤	円
③	円	⑥	円

解答・解説　原価の分類②

①	280,000円	④	940,000円
②	590,000円	⑤	1,081,000円
③	870,000円	⑥	141,000円

「原価」と一言で表す場合、「製造原価」または「総原価」のどちらかを示している。「総原価」は、製造原価に販売費及び一般管理費を合計した金額である。

会社の利益は、販売価格から総原価を控除して算定する。

（単位：円）

① 製造直接費：100,000（直接材料費）＋150,000（直接労務費）＋30,000（直接経費）＝280,000

② 製造間接費：150,000（間接材料費）＋210,000（間接労務費）＋230,000（間接経費）＝590,000

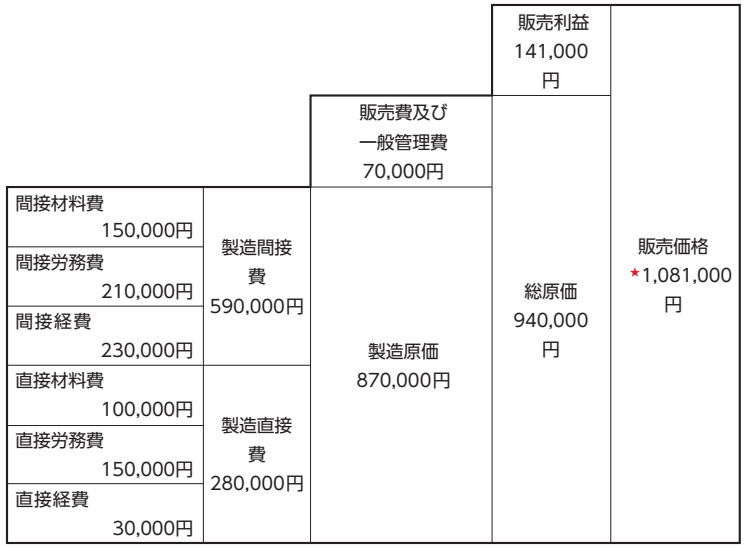
間接材料費：250,000（材料費消費高）－100,000（直接材料費）＝150,000
間接労務費：360,000（労務費消費高）－150,000（直接労務費）＝210,000
間接経費　：260,000（経費消費高）－30,000（直接経費）＝230,000

③ 製造原価：280,000（製造直接費）＋590,000（製造間接費）＝870,000

④ 総原価　：870,000（製造原価）＋70,000（販売費及び一般管理費）＝940,000

⑤ 販売価格：940,000（総原価）×（1＋増加率15％）＝1,081,000

⑥ 販売利益：1,081,000（販売価格）－940,000（総原価）＝141,000



* 総原価940,000×（1＋増加率15％）

Point

- **製造原価：製造直接費＋製造間接費**
- **総原価　：製造原価＋販売費及び一般管理費**
- **販売利益：販売価格－総原価**

1-3 工業簿記の一巡

／ □　／ □　／ □

以下の当月の取引について、仕訳を示し、勘定に転記しなさい。なお、勘定の締め切りは行わなくてよい。

(1) 材料30,000円を掛けで購入した。
(2) 工場作業員の労務費75,000円を現金で支払った。
(3) 工場の経費80,000円を現金で支払った。
(4) 当月に以下の原価要素を消費した。
　① 材　料　　直接費 21,000円、間接費　8,000円
　② 労務費　　直接費 45,000円、間接費 30,000円
　③ 経　費　　直接費 15,000円、間接費 65,000円
(5) 製造間接費勘定に集計された製造間接費を製品に配賦した。
(6) 当月に完成した製品の製造原価は160,000円であった。
(7) 製品を222,000円で掛け販売し、当該製品の製造原価は133,200円であった。
(8) 販売費及び一般管理費15,000円を現金で支払った。
(9) 月末に、売上、売上原価、販売費及び一般管理費を月次損益勘定に振り替えた。
(10) 月初在庫はないものとする。

■解答欄

番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				
(8)				
(9)				

材料

労務費

経費

仕掛品

製造間接費

製品

売上原価

売上

販売費及び一般管理費

月次損益

解答・解説 工業簿記の一巡

番号	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	材料	30,000	買掛金	30,000
(2)	労務費	75,000	現金	75,000
(3)	経費	80,000	現金	80,000
(4)	仕掛品	21,000	材料	29,000
	製造間接費	8,000		
	仕掛品	45,000	労務費	75,000
	製造間接費	30,000		
	仕掛品	15,000	経費	80,000
	製造間接費	65,000		
(5)	仕掛品	103,000	製造間接費	103,000
(6)	製品	160,000	仕掛品	160,000
(7)	売掛金	222,000	売上	222,000
	売上原価	133,200	製品	133,200
(8)	販売費及び一般管理費	15,000	現金	15,000
(9)	売上	222,000	月次損益	222,000
	月次損益	148,200	売上原価	133,200
			販売費及び一般管理費	15,000

材料

(1) 買掛金 30,000	(4) 仕掛品 21,000
	(4) 製造間接費 8,000

労務費

(2) 現金 75,000	(4) 仕掛品 45,000
	(4) 製造間接費 30,000

経費

(3) 現金 80,000	(4) 仕掛品 15,000
	(4) 製造間接費 65,000

仕掛品

(4) 材料 21,000	(6) 製品 160,000
(4) 労務費 45,000	
(4) 経費 15,000	
(5) 製造間接費 103,000	

製造間接費

(4) 材　料　8,000	(5) 仕 掛 品 103,000
(4) 労 務 費　30,000	
(4) 経　費　65,000	

製品

(6) 仕 掛 品 160,000	(7) 売上原価 133,200

売上原価

(7) 製　品 133,200	(9) 月次損益 133,200

売上

(9) 月次損益 222,200	(7) 売 掛 金 222,000

販売費及び一般管理費

(8) 現　金 15,000	(9) 月次損益 15,000

月次損益

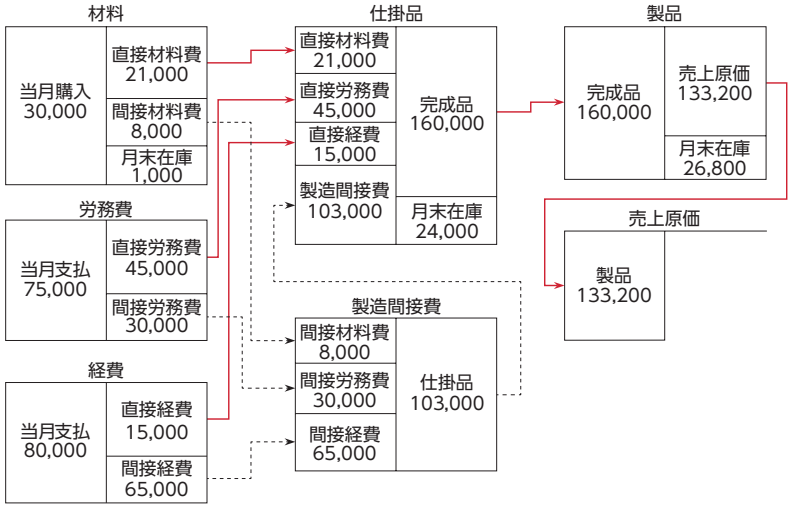
(9) 売上原価 133,200	(9) 売　上 222,000
(9) 販売費及び一般管理費 15,000	

（単位：円）

1．各費目勘定の借方に集計された金額は、製品を製造するために消費された段階で仕掛品勘定に集計される。そして、当月に消費された製造原価は、販売された製品に関わる原価（売上原価）と月末の時点で資産計上される原価（仕掛品・製品）に按分される。

2．販売費及び一般管理費は、製造原価を構成しない期間原価であるため、直接「月次損益」勘定に振り替えられる。

　本問における勘定連絡図は以下のとおりである。（販売費及び一般管理費勘定および月次損益勘定は省略している）



Point

・勘定のつながりを意識しよう！